令和8年度「平和を祈念するパネル展示」事業実施報告

１　開催日時等

令和８年８月２８日（金）から３０日（日）まで
各日午前１０時から午後４時３０分まで（来場者数　計２７８名）

２　展示内容

■ **市企画展示　伊勢原市平和ドキュメンタリー映像「伝えたい想いを乗せて」展**

本市では平成２６年度から東海大学水島研究室と協働し、戦争体験インタビューや市内の風景に残る戦争の記憶に焦点を当てた「平和ドキュメンタリー映像」等を制作しています。令和８年８月に市内７地区分のドキュメンタリー映像シリーズが完結したことを受け、その集大成として映像と史料をリンクさせた回遊型の展示を行いました。

■ **広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」**

広島市立基町高等学校創造表現コースでは、原爆被害の実相を後世に伝えていくため、被爆体験証言者とともに「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。この取組は、被爆者が高齢化する中、被爆の実相を絵画として後世に残すことや、絵の制作を通して高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的に行われています。今回も昨年度に引き続き、全３５点の複製原画をお借りしました。

■ **ＶＲゴーグルによる原爆被害の疑似体験**

広島市が制作した被爆の実相のＶＲ（バーチャルリアリティ）映像が組み込まれたＶＲゴーグルを用いて、原爆投下時の悲惨さや原爆投下時の悲惨さやその後に復興していく街並みなどを疑似体験できるコーナーを設置しました。こちらは昨年度からの新たな取組として広島市からお借りして展示しています。

■ **市民団体コーナー**

いせはら市民平和実行委員会よる「いせはら市民平和展」が行われました。委員会が制作したパネルや、戦争に関する史料展示のほか、関連する映像の上映コーナーも設置されました。

■ **令和８年度中学生平和作文受賞作品**

本市では、広く市民の平和意識を啓発することを目的に、市立４中学校の３年生を対象に「中学生平和作文」を募集し表彰しています。令和８年度は応募総数６５０点の中から、優秀賞８点と佳作８点の計１６点の作品を展示しました。
※８月２９日（土）には表彰式を執り行いました。

■ **令和８年度中学生ヒロシマ平和の旅参加報告**

本市では、次代を担う若年層の平和意識を啓発することを目的に、中学生平和の旅派遣事業を行っています。今年度は平和作文で入賞した８名が「中学生ヒロシマ平和の旅派遣団」として、８月５日から６日にかけて広島を訪れ、平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学、同年代の仲間と平和に関するディスカッション等を行いました。この２日間を通して学んだことや周りの人に伝えたいことを報告パネルにまとめました。

▼市企画展示



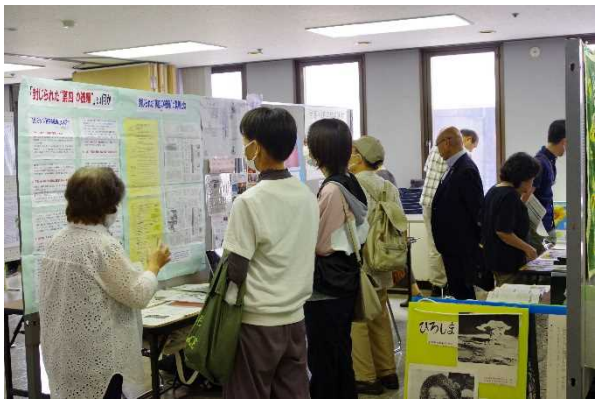
▼原爆の絵



▼ＶＲコーナー



▼市民団体コーナー



▼平和の旅報告・平和作文



▼平和作文表彰式



以上